

平成17年度事業計画

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：T I A）は、1988年10月設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生のそれぞれの活動を通し、地域の国際化を推進してきました。近年では日系ブラジル人を始めとする在住外国人の急増に対応し、多文化共生のための仕組みづくり、外国語講座、生活相談などの分野に特に力を注いできました。

平成17年度は「愛・地球博」を始め、各種団体のホームステイの受入れ等、交流事業を中心に事業を行います。特に上半期は各国ナショナルデーでの受入れを中心とした「一市町村一国フレンドシップ事業」に力を注ぎます。万博終了後は、「愛・地球博後の豊田市」をテーマに、新たな事業展開を目指します。下半期は、そのための調査及び各種機関との連携の可能性を探りつつ、次年度以降の事業に繋げていきます。

また、市内で急増する中国人住民に対する相談窓口の試行的開設、発生が懸念される東南海地震に備えた外国人市民防災体制の構築に向けた調査など、多文化共生のまちづくりを推進する事業にも継続して取り組んでいきます。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

受入時期：平成17年7月1日（金）～7日（木）

イ シカゴ少年合唱団

受入時期：平成17年7月27日（水）～8月1日（月）

ウ 桜花学園大学留学生（韓国籍）

受入時期：平成17年11月（予定）

エ その他、随時検討の上、受け入れる。

(2) おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加する。万博本番の今年度は、一市町村一国フレンドシップ対象国を意識した踊り連を編成する。まつ

りの体験と相互交流を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に寄与する。

開催日 平成17年7月30日(土)
会場 豊田市中心市街地一帯
参加者 外国人・日本人120名

(3) 愛・地球博関連事業

一市町村一国フレンドシップ事業

万博を契機にフレンドシップ国への理解を深めると同時に、豊田市の伝統、文化、芸術を紹介し、国際理解と国際親善に努める。フレンドシップ国との国際交流活動が万博終了後も継続することを目指し、地域の振興・発展につなげる。

ア ナショナルデー事業

各国ナショナルデー、関連のイベント等への応援・協力

英 国：平成17年4月22日(金)

韓 国：平成17年5月11日(水)

アメリカ：平成17年6月20日(月)

メキシコ：平成17年9月15日(木)

イ 万博パビリオンスタッフ対象バスツアー

豊田市に長期滞在される万博のパビリオンスタッフに豊田市の伝統、文化を紹介するため、ガイドツアーを開催する。

内 容：E-IFF による英語でのガイド

行き先：足助、民芸館、酒蔵、美術館、トヨタ会館・工場見学、スタジアム、
拳母神社

期 間：平成17年5月～9月(1回/月)

ウ International Educators to Japan (IEJ) プログラム

受入時期：平成17年7月7日(木)～10日(日)

エ フレンドシップ大使による交流事業

フレンドシップ大使による芸術文化活動を開催し、フレンドシップ国から集う方々、市民との芸術文化を通じた交流を行う。

オ 市民自主活動支援

市民が主体となって行うフレンドシップ国からの来訪者へのおもてなしや、豊田市の紹介活動等の草の根交流に対する支援を行う。

カ その他万博関連事業

ナショナルデー事業以外で来日するフレンドシップ国の方々へのおもてなし、交流を行う。

(4) アップウイズピープル日本ツアー受入れ

米国コロラド州デンバーに本部を置く非営利の体験型国際教育団体であるアップウイズピープル(16年度は26カ国から84名が参加)を受け入れ、広く市民に国際交流の場を提供するとともに、多様な文化への理解と諸外国の方たちとの友好を深める。受入時期は9月19日(月)～26日(月)を予定。

(5) アメリカ・デトロイト市キャス・テク高校受入れ

受入時期：平成17年6月20日(月)～28日(火)

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体と共に開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施する。

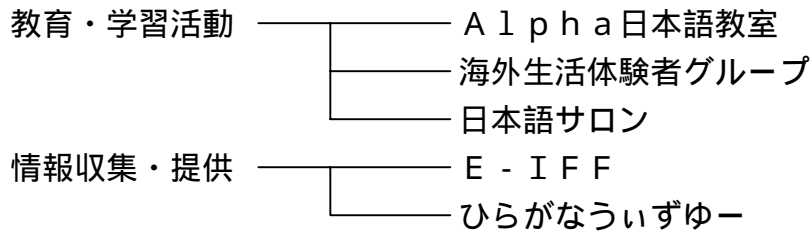
2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳やホームステイなど国際化の担い手となる人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上と、ボランティア同士の連携を深めるための事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

- ・個人ボランティア
 - 事業企画・推進ボランティア
 - 情報ボランティア(図書整理など)
 - 通訳・翻訳
 - 日本文化紹介
 - ホームステイ・ホームビジット
- ・グループボランティア
 - 交流・支援活動
 - アジア友の会
 - 外国人医療支援グループ
 - 日本文化紹介
 - ほづみ会
 - オープンハート
 - 留学生を支援する会



イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の問題点解決のために開催。同時に次期人材の育成のため中堅層の参加を求め、T I Aがボランティア向けに行う諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、新規で登録する人々が定着するような活動環境の整備に努める。

開催頻度 年5回程度
 会場 豊田市国際交流協会
 参加者 各グループ代表者及び中堅層

ウ ホームステイ・ホームビジット紹介・斡旋

エ ボランティアニュースレターの発行

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活情報を提供する。

発行回数 年3回
 発行部数 1,100部/1回

(2) 国際交流情報の提供、相談事業

国際交流・協力経験者や、ボランティアとしての海外での生活体験者によって、国際交流・協力活動や海外留学、海外生活情報、帰国児童生徒問題等についての情報提供、相談業務を実施する。

(3) 外国人多言語相談事業

市を始め各種団体との連携のもと、在住外国人が抱える様々な分野の相談に乗って、多文化共生のまちづくりのための基盤づくりを推進する。また、03年度まで実施していた多言語センター機能事業を受け、愛・地球博に関わる豊田市地域の外国人受入体制の整備の一つとして、特に昨今来日（在住）人口が増加している中国の北京語（標準中国語）出来る人を積極的に活用し、外国人生活相談業務の多言語化の第一歩とする。

(4) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、通訳者を派遣する。

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

社会の多文化の広がりにもとれた小中学校・交流館等での国際理解教育プログラムの相談について、依頼に応じて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また、依頼に応じ市職員や一般市民対象の国際理解教育講座を企画・開催する。

(6) ブラジル一日領事館

豊田市市民相談課主催である当該事業のサポートを行う。

開催日 平成17年9月18日(日)

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内及び近隣市町村在住の外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

期 間 前期：平成17年 4月～平成17年9月の毎週土曜日

後期：平成17年10月～平成18年3月の毎週土曜日

時 間 午前9時30分～午前11時45分

ク ラ ス 入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3

会 場 豊田市国際交流協会

参 加 者 前期・後期各60名

(2) 国際理解教育セミナー

平和・人権・多文化・環境・開発など様々な世界規模の課題を切り口に、教育関係者及び関心のある市民への啓発事業の一環として、参加・体験型のセミナー形式で行う。

開催頻度 年4回程度

会 場 豊田市国際交流協会

参 加 者 一般市民、教育関係者

(3) 第16回地域の国際化「豊田セミナー」の開催

東海地方で活躍する国際交流協会職員、自治体職員、市民ボランティアが集い、時代の要請に対応する多文化共生、国際交流、国際理解教育等に関する新たな課題について考え、課題提起していくとともに情報交換やネットワーク形成の場とする。

開 催 平成18年2月

場 所 豊田市国際交流協会

参加者 県内外市町村職員・国際交流関係者など
共 催 財団法人愛知県国際交流協会、豊田市

(4) 外国語講座

ア 韓国・朝鮮語講座

巷の韓流ブームに勢いを得て、音楽・映画・ドラマ・サッカーなどを通じ注目を集める隣国・韓国。本講座では入門レベルの韓国語を学ぶ目的で市民対象に開催する。

開 催 前期：平成17年 5月～ 7月
後期：平成17年10月～11月

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 韓国・朝鮮語に関心のある在住・在勤の市民

イ 中国語講座

市内外国人登録の中で3番目に多く、また増加しつつある中国人の文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とするため、市民対象の中国語入門講座を年2回開催する。

開 催 前期：平成17年6月～9月
後期：平成18年1月～3月

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 中国語に関心のある在住・在勤の市民

ウ スペイン語講座

一市町村一国フレンドシップ事業の対象国の1つであるメキシコの公用語であるスペイン語を学習する機会を提供する。市内には同じくスペイン語を母語とするペルー人も多く在住しており、広く中南米地域への理解促進も図る。

開 催 平成17年10月～12月

会 場 豊田市国際交流協会

参加者 スペイン語学習に関心のある在住・在勤の市民

(5) 外国人防災体制の整備

外国人住民を対象とする防災対応の先進地域の調査を通じて、発生が懸念されている東南海地震に備えた豊田市の外国人防災体制の整備を関係機関との協力により進めていく。

(6) その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種芸術・文化紹介事業を類似の団体とともに開催し、研修啓発事業の多様化を図る。随時、内容検討のうえ実施。

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌「サンフラワー」発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布する。

発行回数 年4回(4月、7月、10月、1月)

規 格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部/1回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供する。

発行回数 年3~4回(随時)

規 格 A4サイズ 2頁

発行部数 2,000部/1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語とルビ付きの日本語による各種生活情報を掲載する。

発行回数 24回(毎号掲載)

規 格 A4サイズ 1頁

発行部数 146,240部/1回

(4) 図書、ビデオ収集・提供事業

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書、資料、ビデオ等を収集・提供する。

(5) 各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を要約・編集し、報告書として提供する。

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、その後援を始めとして、積極的な支援参加を行う。

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討を進め、提言にまとめ、関係部署と連携、推進する。

ア 多文化共生への提言の展開

外国人集住都市会議、豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、仕組みや法制度の見直しに関する提言の実現に向け取り組む。

イ 外国人子ども支援事業の展開

教育委員会や学校等との連携のもと、外国人児童生徒が国籍や言葉の違いなどで学習に困難を来し、学業を途中で断念しないよう支援する。具体的には、国際（日本語）教室へのボランティアの派遣やT I Aの活動現場から上がった課題を関係機関に提言するなど、環境整備を行う。

ウ 保見団地多文化共生モデル地区事業の推進

在住外国人の集住度の高さと規模で全国的にも注目されている保見団地において、自治区やボランティアグループ等の地元組織、大家である公団や愛知県、企業、市等と連携をとりながら、多文化共生のまちづくりを推進する。

(2) ボランティア活動活性化のための調査

ボランティア活動を活性化させ、新たな事業展開へ繋げていくヒントを得るためにボランティア活動が活発な、若しくは事務局として先進的な取組みをしている地域及び組織の調査・視察を行うとともに、TIA ボランティアや市民を対象にした調査等も実施する。

(3) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施する。

7 外国人青少年社会順応促進事業

(1) サッカー大会

外国人青少年に人気の高いサッカーの大会を開催し、スポーツを通じて交流する機

会を提供することによって、彼らの健全育成を図る一助とする。

また、事業の企画・運営には外国人関係者にも関わってもらうことにより、今後の多文化共生まちづくり事業の担い手となる人材の発掘も目指す。

開 催 平成17年10月

場 所 豊田市運動公園

対 象 豊田市内のブラジル人学校、NPO運営の教室に通う外国人青少年

8 国際交流センター運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場の提供として国際交流センターを運営する。

9 その他 ボランティアグループ活動計画

本年度、以下の活動を計画しており各グループは自立的に活動を推進するが、TIAは活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

国際交流

オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

- ・ウエイン州立大学 7月
- ・アップウイズピープル日本ツアー 9月
- ・桜花学園大学 11月 など

日本文化紹介

在住外国人への日本文化紹介（茶道・書道・華道・着付け・折り紙等）：随時
TIAボランティアグループの各種活動への協力

国際協力

アジア友の会

- 前半：スマトラ沖地震及び津波の被災地の一つであるインド・チェンライにあるNGO団体を通じた支援を継続予定
- 後半：市内各交流館などを中心に展開している書き損じはがきの回収とその収益の送金（インドの障害児教育へ充当）を行う。

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座、タイスタディツアーの実施。6月5日に豊田市コンサートホールでオカリナ奏者黒野宏通氏を招いてのチャリティーコンサートを開催予定。

在住外国人と交流・支援

留学生を支援する会

豊田市地域の留学生の相談相手（おいでんファミリー）を通じた支援・交流活動。その他、留学生の母国の文化紹介講座（留学生ふるさと講座）や日本文化紹介グループの協力を得て日本文化体験講座なども実施予定。

E - I F F

英語サロン（5回程度）

TIA 事業（万博パビリオンスタッフ対象バスツアー）への協力

証明書類等の翻訳

その他随時通訳・翻訳活動の展開

ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語（ポルトガル語・英語）表記も含め、提供する。年3回発行。発行部数は各回1,100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布。

外国人医療支援グループ

外国人子ども健康促進活動（03年度外国人学校健康調査フォロー、検診等）

他域の外国人医療支援グループとの連携

日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催、学習者のための託児ルーム開設。

開講時期：前期 4月～9月 後期10月～18年3月

Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、バーベキュー）の実施。

開講時期： 5月～8月、9月～12月、18年1月～4月 の計3期

学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会）年1回